

平成23年度決算 笛吹市連結財務書類の公表について

平成23年度決算による連結財務書類を作成しました。

連結財務書類とは、連結貸借対照表・連結行政コスト計算書・連結純資産変動計算書・連結資金収支計算書の4表です。

連結財務書類は、一般会計のほか、国民健康保険や下水道事業などの特別会計及び水道事業など公営企業会計、さらに市が加入している一部事務組合や市が出資している関係法人などを全て包括し、ひとつの行政サービス実施主体として作成した市全体の財務書類です。連結ベースで作成することにより、公的資金等によって形成された資金の状況及びその他財源とされた負債・純資産の状況などを総合的に明らかにすることが可能となります。

笛吹市の連結対象となる会計・団体等は、下記の図のとおり22あります。連結（合算）の方法は全部連結と比例連結があり、一部事務組合や広域連合は経費の一部を市が負担しているため、経費負担割合に応じて連結しました。

笛吹市連結財務書類対象会計等について

会計名・団体名		連結区分
【一般会計】		
1	笛吹市一般会計	全部連結
【特別会計】		
2	笛吹市国民健康保険特別会計	全部連結
3	笛吹市介護保険特別会計	全部連結
4	笛吹市介護サービス特別会計	全部連結
5	笛吹市後期高齢者医療特別会計	全部連結
6	笛吹市公共下水道特別会計	全部連結
7	笛吹市農業集落排水特別会計	全部連結
8	笛吹市簡易水道特別会計	全部連結
【公営企業会計】		
9	笛吹市水道事業会計	全部連結
10	笛吹市営春日居地区温泉給湯事業会計	全部連結
【広域連合】		
11	山梨県後期高齢者医療広域連合	比例連結
【一部事務組合】		
12	山梨県市町村総合事務組合	比例連結
13	山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合	比例連結
14	東八代広域行政事務組合	比例連結
15	東山梨行政事務組合	比例連結
16	甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合	比例連結
17	青木が原ごみ処理組合	比例連結
18	東山梨環境衛生組合	比例連結
19	峡東地域広域水道企業団	比例連結
20	釈迦堂遺跡博物館組合	比例連結
【第三セクター等】		
21	公益財団法人 ふえふき文化・スポーツ振興財団	全部連結
22	一般社団法人 笛吹市観光物産連盟	全部連結

●連結貸借対照表（バランスシート）

連結貸借対照表は、これまでに形成した財産（土地・建物・預金等）の額と、そのために使ったお金や借金がどのくらいあるのかを、一つの表から読み取れるようにしたものです。平成24年3月31日現在（年度末）の市の資産・負債・純資産の残高（ストック）を表しています。

本市の平成24年3月31日現在の資産総額は2,110億1417万2,000円、負債（借金等これから支払うお金）は753億2,769万7,000円、純資産（今までに支払ったお金等）は1,356億8,647万5,000円です。

資産の部の有形固定資産を見ると、道路や下水道整備など生活インフラ資産が有形固定資産全体の約46%を占めています。

笛吹市の連結貸借対照表

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
1. 公共資産	185,496,911	1. 固定負債	69,887,197
(1)有形固定資産	183,498,754	(1)市債（普通会計分）	34,320,055
①生活インフラ・国土保全	84,165,019	(2)市債（公営事業会計分）	28,471,145
②教育	38,904,112	(3)一部事務組合等地方債	1,231,325
③福祉	5,344,467	(4)退職手当引当金	5,864,672
④環境衛生	27,205,694	2. 流動負債	5,440,500
⑤産業振興	12,762,363	(1)翌年度償還予定地方債	4,905,788
⑥消防	3,166,517	(2)未払金	226,644
⑦総務	11,950,582	(3)賞与引当金	280,792
(2)無形固定資産	1,993,153	(4)その他	27,276
(3)売却可能資産	5,004	負債合計	75,327,697
2. 投資等	16,024,505		
(1)投資及び出資金	2,255,027		
(2)基金等	12,286,367		
(3)長期延滞債権	1,483,111		
3. 流動資産	9,492,756		
(1)資金	8,767,908		
(2)未収金	666,351		
(3)その他	58,497		
資産合計	211,014,172		
		純資産の部	
		純資産合計	135,686,475
		負債・純資産合計	
		負債・純資産合計	211,014,172

※総務省方式改訂モデルを準用

市民一人当たりの連結貸借対照表はつぎのようになります。

市民一人当たりの平成24年3月31日現在の資産総額は292万5,000円、負債（借金等これから支払うお金）は104万4,000円、純資産（今までに支払ったお金等）は188万1,000円です。

笛吹市民一人当たりの連結貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	金額	構成比率
1. 公共資産	2,571	87.9%
(1)有形固定資産	2,543	87.0%
①生活の万・国土保全	1,167	39.9%
②教育	539	18.5%
③福祉	74	2.5%
④環境衛生	377	12.9%
⑤産業振興	177	6.0%
⑥消防	44	1.5%
⑦総務	165	5.7%
(2)無形固定資産	28	0.9%
(3)売却可能資産	0	0.0%
2. 投資等	222	7.6%
(1)投資及び出資金	31	1.1%
(2)基金等	171	5.8%
(3)長期延滞債権	20	0.7%
3. 流動資産	132	4.5%
(1)資金	122	4.2%
(2)未収金	9	0.3%
(3)その他	1	0.0%
資産合計	2,925	100.0%

負債の部	金額	構成比率
1. 固定負債	969	33.1%
(1)市債（普通会計分）	476	16.2%
(2)市債（公営事業会計分）	395	13.5%
(3)一部事務組合等地方債	17	0.6%
(4)退職手当引当金	81	2.8%
2. 流動負債	75	2.6%
(1)翌年度償還予定地方債	68	2.4%
(2)未払金	3	0.1%
(3)賞与引当金	4	0.1%
(4)その他	0	0.0%
負債合計	1,044	35.7%

純資産の部	金額	構成比率
純資産合計	1,881	64.3%

負債・純資産合計	金額	構成比率
負債・純資産合計	2,925	100.0%

※人口は、72,145人（平成24年3月31日現在の住民基本台帳人口+外国人登録人口）を使用

●連結行政コスト計算書・連結純資産変動計算書

連結行政コスト計算書は、4月1日から翌年3月31日までの1年間の行政活動のうち、税金等を財源とする行政サービス（資産形成につながるものを除く。）が効率的に提供されているか、またどの分野にどのように使われたかを知ることができます。

連結純資産変動計算書は、連結貸借対照表の純資産の部に計上されている数値が、1年間でどのように変動したかを表しています。

今回は、連結行政コスト計算書と連結純資産変動計算書を結合して掲載しました。円グラフを見ると、移転支的コストが行政コスト全体の59%を占めていることがわかります。そのうち8割以上が、社会保障給付に使われています。

連結行政コスト計算書・連結純資産変動計算書（結合表）

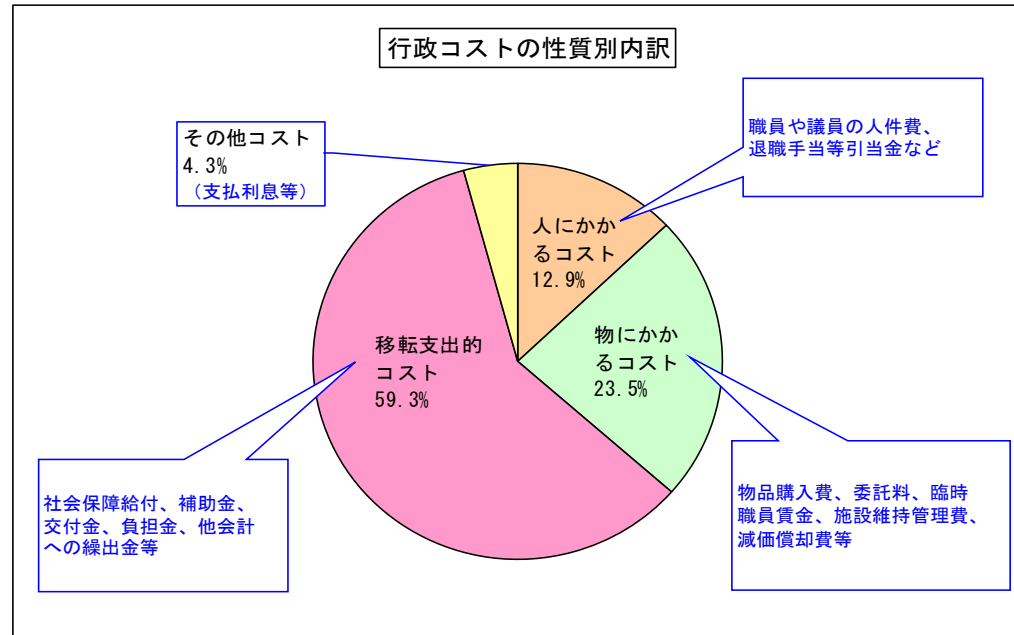
（単位：千円）

コストの部		目的別内訳									
		生活イワ 国土保全	教育	福祉	環境 衛生	産業 振興	消防	総務	議会	その他	
経常行政コスト総額 ①	46,665,158	2,991,387	3,018,327	27,816,328	3,374,485	2,103,983	1,068,945	4,254,860	298,333	1,738,510	
性質別 内訳	人にかかるコスト（小計）	6,037,372	270,247	570,631	993,020	401,659	213,270	680,595	2,624,462	283,488	0
	人件費	4,673,121	248,566	487,485	825,335	315,041	203,509	571,607	1,759,664	261,914	0
	退職手当等引当金繰入等	1,083,459	8,588	55,488	116,730	66,152	-2,095	75,094	757,667	5,835	0
	賞与引金当繰入額	280,792	13,093	27,658	50,955	20,466	11,856	33,894	107,131	15,739	0
	物にかかるコスト（小計）	10,978,318	2,281,453	2,198,975	1,435,234	2,302,712	1,139,776	346,530	1,262,597	11,041	0
	物件費（物品購入、委託料、賃金等）	5,301,508	173,898	1,283,157	1,158,184	1,421,013	338,219	107,386	808,610	11,041	0
	維持補修費	256,959	35,047	45,842	7,943	128,071	23,099	8,836	8,121	0	0
	減価償却費	5,419,851	2,072,508	869,976	269,107	753,628	778,458	230,308	445,866	0	0
	移転支出的コスト（小計）	27,660,667	376,251	248,598	25,287,501	585,018	749,874	41,820	367,801	3,804	0
	社会保障給付等	22,216,209	0	70,559	22,145,491	159	0	0	0	0	0
	補助費等（補助金等）	4,876,210	341,711	178,039	2,903,653	584,859	454,523	41,820	367,801	3,804	0
	他会計等への支出額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	普通建設事業（他団体への補助金等）	568,248	34,540	0	238,357	0	295,351	0	0	0	0
その他コスト（小計）	1,988,801	63,436	123	100,573	85,096	1,063	0	0	0	1,738,510	

（単位：千円）

収入の部		
使用料・手数料	434,419	
分担金・負担金・寄附金	7,812,485	
保険料	3,669,914	
事業収益	1,970,983	
その他特定行政サービス収入	116,207	
経常収益合計 ②	14,004,008	
（差引）純経常行政コスト（①-②） ③	32,661,150	
財源 調達	ア 市税	8,847,074
	イ 地方交付税	9,769,283
	ウ その他行政コスト充当財源	1,686,651
	エ 補助金等受入	13,798,834
	オ 公共資産除売却損益	-100,032
	カ その他純資産増減額	150,886
純資産増加額（ア～カ） ④	34,152,696	
期首純資産残高 ⑤	134,194,929	
期末純資産残高 ⑤-③+④	135,686,475	

※総務省方式改訂モデルを準用



平成25年3月5日 修正

●連結資金収支計算書（キャッシュフロー計算書）

連結資金収支計算書は、4月1日から翌年3月31日までの1年間のお金の流れを表します。歳入歳出決算書を活動ごとに区分することにより、それぞれの活動の資金調達の方法と、資金を何に使用したのかを表しています。

連結資金収支計算書

（単位：千円）

（行政事務活動） 経常的収支の部	人件費	5,942,519
	物件費	5,312,767
	社会保障給付	22,216,209
	補助金等	4,869,863
	支払利息	1,273,005
	その他支出	511,814
	支出合計	40,126,177
	市税	8,767,488
	地方交付税	9,769,283
	国県補助金等	12,360,872
	使用料・手数料	432,215
	分担金・負担金・寄附金	7,527,678
	保険料	3,597,008
	事業収入	1,924,629
	諸収入	381,249
	地方債発行額	1,626,507
	基金取崩額	710,382
	その他収入	1,323,515
	収入合計	48,420,826
（経常的収支額）①	8,294,649	
（建設活動） 公共資産整備収支の部	公共資産整備支出	6,086,439
	公共資産整備補助金等支出	568,248
	一部事務組合・広域連合公共資産整備支出	29,480
	支出合計	6,684,167
	国県補助金等	1,230,083
	地方債発行額	2,993,000
	基金取崩額	67,663
その他収入	122,850	
収入合計	4,413,596	
（公共資産整備収支額）②	△ 2,270,571	
（財務活動） 投資財務的収支の部	投資及び出資金、貸付金	12,500
	貸付金	0
	基金積立額	520,779
	定額運用基金への繰出支出	93,808
	地方債償還額	5,145,127
	支出合計	5,772,214
	国県補助金等	0
	貸付金回収額	0
	基金取崩額	0
	地方債発行額	137,000
	公共資産等売却収入	13,202
その他収入	214,378	
収入合計	364,580	
（投資財務的収支額）③	△ 5,407,634	
当年度資金増減額 ④(①+②+③)	616,444	
期首資金残高 ⑤	8,032,883	
経費負担割合変更に伴う差額 ⑥	118,581	
期末資金残高 ⑦(④+⑤+⑥)	8,767,908	

※総務省方式改訂モデルを準用

※説明（①から④）

（経常的収支額）①
この黒字額が小さければ、行政事務活動の支出（人件費等）を抑えていく必要がある。

（公共資産整備収支額）②
この活動を起債による将来負担に回さないためには、ここでの赤字額を行政事務活動の黒字の範囲に抑える必要がある。

（投資財務的収支額）③
この活動は上の2つの活動による資金収支の差額を補うもの。

当年度歳計現金増減額④
前年度より現金化できる資金が約6億円増加している。

※平成23年度決算に基づく連結財務書類4表と、一般会計財務書類4表それぞれの関係がわかるように一覧表にしました。

貸借対照表は、前年度貸借対照表（期末）から1年間にどのように変化したのかを表す行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書を作成することで出来上がります。

この貸借対照表を見れば、表を作成した時点での市の資産や負債の状況が、おおまかに把握できます。

平成23年度決算 笛吹市連結財務書類4表関係図

() 内の数値は市民ひとりあたりの金額
平成24年3月31日現在人口：72,145人（外国人登録人口を含む）で算出

貸借対照表		(発生主義)	
平成24年3月31日現在		ストック情報	
資産		負債	
①公共資産	1,854億9,700万円	①固定負債	698億8,700万円
.....	(257.1万円)	(96.9万円)
②投資等	160億2,500万円	②流動負債	54億4,100万円
.....	(22.2万円)	(7.5万円)
③流動資産	94億9,200万円	負債合計	753億2,800万円
.....	(13.2万円)	(104.4万円)
(流動資産のうち)		純資産	
・歳計現金	87億6,800万円	純資産合計	1,356億8,600万円
.....	(12.2万円)	(188.1万円)
資産合計	2,110億1,400万円	負債・純資産合計	2,110億1,400万円
.....	(292.5万円)	(292.5万円)

資金収支計算書		(現金主義)	
自平成23年4月1日 至平成24年3月31日		フロー情報	
①収 入	531億9,900万円		
.....	(73.7万円)		
②支 出	525億8,200万円		
.....	(72.8万円)		
③資金増減額(①収入-②支出)	6億1,700万円		
.....	(0.9万円)		
④期首歳計現金残高	80億3,300万円		
.....	(11.1万円)		
⑤経費負担割合変更による差額	1億1,800万円		
.....	(0.2万円)		
期末歳計現金残高	87億6,800万円		
.....	(12.2万円)		

行政コスト計算書		(発生主義)	
自平成23年4月1日 至平成24年3月31日		フロー情報	
①経常行政コスト	466億6,500万円		
.....	(64.7万円)		
②経常収益	140億400万円		
.....	(19.4万円)		
純経常行政コスト (①-②)	326億6,100万円		
.....	(45.3万円)		

純資産変動計算書		(発生主義)	
自平成23年4月1日 至平成24年3月31日		フロー情報	
①期首純資産残高	1,341億9,500万円		
.....	(186.0万円)		
②純経常行政コスト	326億6,100万円		
.....	(45.3万円)		
③一般財源	203億300万円		
.....	(28.2万円)		
④補助金等受入	137億9,900万円		
.....	(19.1万円)		
⑤臨時損益	△1億1,600万円		
.....	(△0.2万円)		
⑥資産評価替え等	1億6,600万円		
.....	(0.3万円)		
期末純資産残高	1,356億8,600万円		
.....	(188.1万円)		

(注) この財務書類4表は、総務省方式改訂モデルに則って作成しました。

※ 期末純資産残高=①期首純資産残高-②純経常行政コスト+③一般財源+④補助金等受入+⑤臨時損益+⑥資産評価替え等

平成23年度決算 笛吹市（一般会計）財務書類4表関係図

() 内の数値は市民ひとりあたりの金額
平成24年3月31日現在人口：72,145人（外国人登録人口を含む）で算出

貸借対照表		(発生主義)	
平成24年3月31日現在		ストック情報	
資産		負債	
①公共資産	1,212億7,600万円	①固定負債	395億2,000万円
.....	(168.1万円)	(54.8万円)
②投資等	177億1,800万円	②流動負債	36億6,600万円
.....	(24.6万円)	(5.1万円)
③流動資産	69億5,800万円	負債合計	431億8,600万円
.....	(9.6万円)	(59.9万円)
(流動資産のうち)		純資産	
・歳計現金	18億4,300万円	純資産合計	1,027億6,600万円
.....	(2.6万円)	(142.4万円)
資産合計	1,459億5,200万円	負債・純資産合計	1,459億5,200万円
.....	(202.3万円)	(202.3万円)

行政コスト計算書		(発生主義)	
自平成23年4月1日 至平成24年3月31日		フロー情報	
①経常行政コスト	260億2,400万円		
.....	(36.1万円)		
②経常収益	8億5,100万円		
.....	(1.2万円)		
純経常行政コスト (①-②)	251億7,300万円		
.....	(34.9万円)		

純資産変動計算書		(発生主義)	
自平成23年4月1日 至平成24年3月31日		フロー情報	
①期首純資産残高	1,019億 300万円		
.....	(141.2万円)		
②純経常行政コスト	251億7,300万円		
.....	(34.9万円)		
③一般財源	202億3,900万円		
.....	(28.1万円)		
④補助金等受入	59億2,100万円		
.....	(8.2万円)		
⑤臨時損益	△1億1,600万円		
.....	(△0.2万円)		
⑥資産評価替え等	△800万円		
.....	(△0.0万円)		
期末純資産残高	1,027億6,600万円		
.....	(142.4万円)		

資金収支計算書		(現金主義)	
自平成23年4月1日 至平成24年3月31日		フロー情報	
①収入	319億3,100万円		
.....	(44.3万円)		
②支出	321億3,300万円		
.....	(44.5万円)		
③資金増減額(①収入-②支出)	△2億 200万円		
.....	(△0.2万円)		
④期首歳計現金残高	20億4,500万円		
.....	(2.8万円)		
期末歳計現金残高	18億4,300万円		
.....	(2.6万円)		

(注) この財務書類4表は、総務省方式改訂モデルに則って作成しました。

※ 期末純資産残高=①期首純資産残高-②純経常行政コスト+③一般財源+④補助金等受入+⑤臨時損益+⑥資産評価替え等